

# 1 八幡ジャンクション付近

新名神高速道路と第二京阪道路を接続するジャンクションやインターチェンジを建設しています。現在、橋梁工事や土工工を行っています。橋梁については、全11橋のうち、



残り1橋のコンクリート桁架設や壁高欄の施工をしています。完成した橋梁では舗装の施工を進めています。土工工事も大型重機を用いて盛土造成を進めています。

# 2 京田辺高架橋付近

木津川の左岸から八幡ジャンクション(仮称)へとつながる、約1.6kmのコンクリートの高架橋を建設しています。



橋梁についてはすでに完成し、今後は標識工事や舗装工事、高架下整備などを進めています。

# 3 木津川橋付近

木津川を渡る755mの鋼橋を建設しています。河川内の工事は毎年、非出水期となる10月中旬から翌6月中旬の間で実施しています。



現在第五期目の河川内工事を行っています。上部工の桁架設は完了し、現在、橋梁上の床版や壁高欄などの施工を進めています。

# 4 城陽ジャンクション付近

新名神高速道路と京奈道路を接続するジャンクションやインターチェンジを建設しています。橋梁については、すべて完成し、引き続いて舗装工事を行っています。



土工工事では、八幡ジャンクション(仮称)からの掘削土を運搬して、盛土造成を進めており、完成した箇所から順次、舗装工事や料金所などの施設工事を行っています。

# 5 宇治田原町域 ★H35年度開通区間

宇治田原町域では、平成35年度開通予定の新名神高速道路(大津~城陽間)の工事を行っています。岩山地区ではトンネル工事に必要な約220m



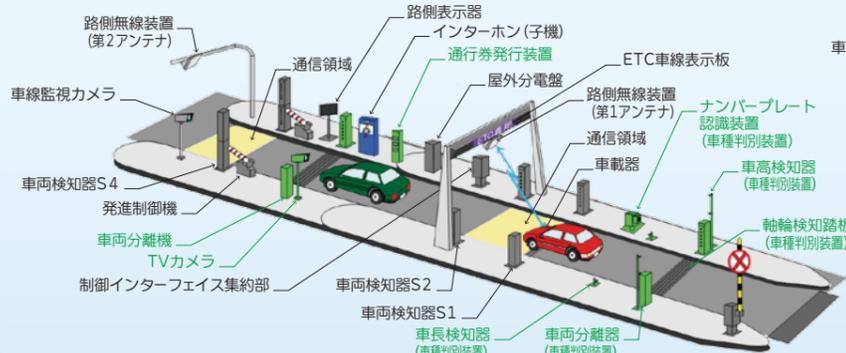
の工事用仮橋の施工を進めています。郷之口地区でも、橋梁の下部工に着手しました。



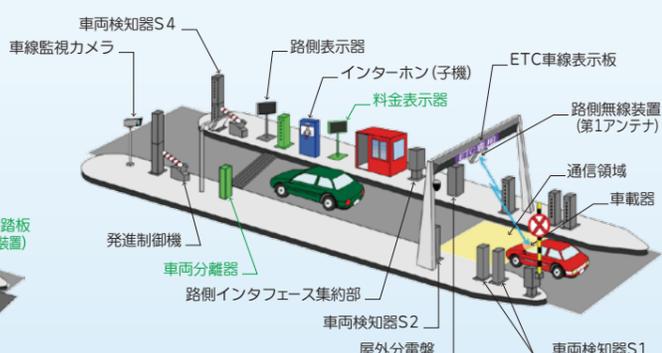
## 『高速道路ができるまで... ETC施設

ETCとは「Electronic Toll Collection System(電子料金収受システム)」の略で、無線通信による車両と料金所の装置との間で情報交換を行うことで、料金所で停止することなく通行料金を支払うことができるシステムです。料金所では、通信装置だけではなく、車両の進入や退出を確認する車両検知器や料金などを表示する表示器、通行バーなど多くの装置が連動してETCのシステムを構成しています。ETCを利用することで、料金所での一時停止にともなう渋滞の減少や時間の短縮が図れるほか、停止・発進時の温室効果ガス(CO2)の削減や騒音の低減につながります。現在、NEXCO西日本の高速道路を通行する車両の9割近くがETCを利用しています。

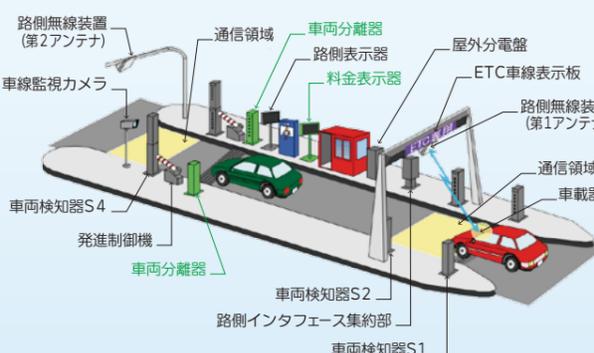
### ○入口発券出口徴収方式・入口料金所



### ○入口発券出口徴収方式・出口料金所



### ○単純徴収方式



凡例	ETC設備	■
	料金機械	■

## 現場案内・ハイウェイレッスン



※本誌における新名神のJCT(ジャンクション)IC(インターチェンジ)構造物の名称はすべて仮称です。